



日本人の良さ再発見！

校長 鶴田 和仁



行事の多い2学期が終わり、いよいよ冬休みです。この2学期、保護者をはじめ地域の皆様には、コロナウイルス感染防止のための対策を含め、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきました。感謝申し上げます。おかげさまで、充実した2学期を終えることができました。

先日も、持久走大会においてグラウンド整備を早朝よりお手伝いいただき、誠にありがとうございました。

話は変わりますが、今月はサッカーワールドカップで盛り上がりました。なぜかオリンピックやW杯になると日本人を意識して、日頃はサッカーにはさほど興味ないのに、応援してしまう自分がいて、びっくりするほどです。

今大会、日本代表の活躍は本当に素晴らしく、誇らしかったです。優勝経験国のドイツ、スペインを撃破した瞬間は、夢心地でありました。選手たちが見せたプレーからは、強豪国相手でも十分やれるという自信を感じられ、ベスト8こそ逃したものの国民に感動を与えたことは十分すぎる功績を残したと思います。プレーばかりでなく、試合後のロッカールームがきれいに片付けられ、感謝の言葉と折り鶴が飾られた映像は何度みても美しいものだと感じました。

また、サポーターによる試合後の清掃も、当たり前前の光景となっており、世界各国から感謝メッセージが寄せられていて胸が熱くなる思いでした。本当に誇りに感じるが多かったです。このような良き伝統が子どもたちに引き継がれ、世界に誇れる人になってくれることを切に願うばかりです。

いよいよ24日から冬休みです。今年は、例年より少し長い17日間のお休みですが、年末年始の慌ただしさの中で、あっという間に終わってしまいそうです。

年末年始の行事は古来から長く続くものです。各家庭においてそれぞれの伝統もあることでしょう。このような良き時期に色々と話をしていただきたいと思います。

そして、1年を振り返り、新しい年に向けて、決意や目標を決めることも冬休みにぜひやって欲しいことです。どうぞ、よいお年をお迎えください。



